

戦前戦後異端文学論 —奇想と反骨—

新典社研究叢書 193

戦前戦後異端文学論 —奇想と反骨—

谷口 基 著



新典社

[戦前戦後異端文学論 —奇想と反骨— 下载链接1](#)

著者:谷口 基

出版者:新典社

出版时间:2009年05月14日

装帧:单行本

isbn:9784787941985

戦後の異端文学ブームは戦前の探偵小説に正当な評価を与えたのみならず、エンター

テイメント文学の本質を伝える重要な契機となった。

奇想をもって日常を相対化し、反骨の精神を内包しながらそれぞれの生きた時代を書きつけた異端文学—探偵小説、シナリオ、ノンフィクション、ホラーなど—の、エンターテイメント文学としての本質を問い直す。渡辺温、横溝正史、江戸川乱歩らから、戦後まで。

作者介绍:

谷口基 (たにぐち もとい)

1964年3月 東京都三鷹市に生まれる

1986年3月 立教大学文学部日本文学科卒業

1993年3月 立教大学大学院文学研究科博士後期課程満期退学

専攻 日本近代文学

現職 早稲田大学文学学術院非常勤講師

目录:

[戦前戦後異端文学論 —奇想と反骨— 下载链接1](#)

标签

谷口基

推理评论

评论

[戦前戦後異端文学論 —奇想と反骨— 下载链接1](#)

书评

[戦前戦後異端文学論 一奇想と反骨一 下载链接1](#)